

令和3年度補正予算を可決

健康、定住、イン

一般会計補正予算



健やかなくらし

Wi-Fiで高齢者支援

317万円

介護予防拠点でタブレットを使用した予防活動

産後うつ予防

105万円

産後の健診費用を助成し、産後うつや虐待を未然に防ぐ

下水道特別会計補正予算

573万円

赤田・上沖洲線に管布設替工事設計委託

地域づくり

ハザードマップ更新

572万円

想定しうる最大規模のものへ総合防災マップを更新

赤田・上沖洲線整備

5,050万円

道路補修・交通安全対策

9,550万円

観光物産館解体

667万円

施設の老朽化及び商工会館の移転による解体

フラに手厚く

3億5,300万円

にぎわいづくり

新婚さんいらっしゃい!!

新婚世帯の新生活スタート支援

510万円

住居の購入・賃借等の費用を支援

金魚と鯉の郷広場遊具更新

1,037万円

ユニバーサルデザインの遊具を整備

飲食店等営業時短協力金

306万円

まん延防止等重点措置により時間短縮要請を受けた飲食店等を支援

空家対策

950万円

解体補助や空家バンクで適正管理

人づくりをめざして

中3の学力向上

164万円

夏休み等を利用して集中講座「未来塾」開催

地域部活動推進

102万円

中学校の部活動を地域へ移行する県モデル事業

防災士育成

81万円

荒尾市と共同で講習会を開催し資格取得を支援

こんなことを質問しました

問 (前田議員) 防災行政無線戸別受信機の設置基準と今後の予定は。

答 (総務課長) 要綱に基づき、難聴地域、事業所を有する法人、防災上必要と認められた施設等に貸与している。塩屋区を難聴地域と判断し、14戸に設置する予定である。

問 (大森議員) 大規模盛土造成地変動予測調査とはどんなものか。

答 (建設課長) 県の調査で抽出された町内5か所の盛土造成地域の既存基礎資料の収集、整理と対象箇所の盛土や擁壁の状況を確認する現地調査を行うものである。

問 (荒木議員) 防犯カメラ賃借料は今回5台分として補正がなされているが、合計で何台になるのか。また、今後増やす予定はあるのか。

答 (総務課長) 今回計上分と合わせ86台となる。地域の状況等必要に応じて増設していく。

問 (磯野議員) ぼたもちさんの近隣の土地を駐車場用地として購入しているが、まずは土地、建造物を取得するべきではないか。



長洲町指定文化財の立花宗茂公夫人の墓(ぼたもちさん)

答 (町長) 様々な計画を立てている。今後は、文化財や観光面も含めて全体的に整備をしていく。

問 (濱崎議員) 子どもたちが金魚に興味を持つために、家庭で金魚を飼って年1回表彰するようなアイデアはどうか。

答 (町長) 金魚の町と言われながらも、金魚のPR、発信ができていない。アイデアの一つ一つについてできるものから実行していく。

専決処分

税条例の一部改正

コロナ禍での社会経済活動、国民生活全般の変化を踏まえた改正。
○住宅ローン控除の期限延長
○国外居住親族の扶養控除の見直し
○セルフメディアイケーション税制の延長
○固定資産税の負担調整措置の継続

○軽自動車税の新燃費基準化の区分見直し
○税額増額土地への特別措置措置

一般会計補正予算(新型コロナウイルスワクチン接種業務運営)

高齢者へのワクチンの2回目接種を7月未までに完了するための業務運営に係る補正。

一般会計補正予算(子育て世帯生活支援特別給付金)

「新型コロナウイルスに影響を受けた非正規雇用労働者等に対する緊急対策関係閣僚会議」において「非正規雇用労働者等に対する緊急支援措置」で決定されたことを受け、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業に係る予算の補正。

委員長報告

総務保健福祉常任委員会

防災対策

3月定例会で、総務保健福祉常任委員会にて「防災対策に対する提言」を行い、6月定例会において、関連する事業が新たに補正予算で可決された。今後の執行状況、成果について注視していきたい。

常任委員会のごき
調査した防災対策の提言をまとめる。

町は関連する事業を新たに予算計上。情報提供の充実や人材育成を進めていく。

委員会は事業の実績を確認、効果を検証。他の項目の進捗状況も継続して調査する。

●備蓄資機材消耗品 51万円
備蓄食料、飲料水、乳幼児用アレルギーク除去食品、水無はみがき、シャンプー等を購入。

●防災行政無線戸別受信機設置手数料 42万円
難聴地域の要支援者宅を対象に防災行政無線戸別受信機を設置。

●総合防災ハザードマップ更新業務委託料 572万円
想定しうる最大規模の降雨に対応するハザードマップを作成。

●防災士資格取得支援金 36万円
荒尾市と共同で防災士養成講座を開催し、資格取得の費用を助成。



家族で避難場所の確認を



提言の内容はこちら

議提第2号

日本政府に意見書

提出

日本政府に核兵器禁止条約への参加・調印・批准を求める意見書提出の陳情が、採択された。
これは、令和3年2月25日に陳情が提出され、3月定例会において総務保健福祉常任委員会に付託された。

委員会では、慎重に審査するため、原水爆禁止熊本県協議会より畠田ミツ子理事長と笹原和典事務局長を参考人として招致し、核兵器禁止条約についての説明を受けた。

5月25日に採決を行う際、委員会では「被爆国として議会から声をあげ、取組を進めてほしい。」「若い世代につながるのが我々の責任。」



広報調査特別委員会

タブレット活用にチャレンジ!



意見書の内容はこちら



議会だよりの編集作業に、タブレット端末を導入した。PDFデータの資料の閲覧や、文字の音声入力等、少しずつ便利な機能がわかってきたが、まだまだ悪戦苦闘中である。長洲町議会のICT化推進を目指すため、今後さらに活用していきたい。